

アメリカ人のように、挨拶しよう！

注意

この記事ではアメリカの英語を扱います。他の方言に当てはまる場所もありますが、ネイティブスピーカーの表現、感覚などが地域により異なるので、アメリカ以外の方言に当てはまらない事があります。

アメリカ人に挨拶しようとする時、最初に何と言えばいいでしょう？私の場合は、日本人に初めて会った時、このような流れでした。

“Hey!”

“Hello!”

“How are you doing?”

“I’m fine thank you, and you?”

この時、「I’m fine thank you, and you?」というフレーズを初めて聞きました。今までネイティブスピーカーからこう話しかけられたことはなかったんです。しかし、そこまで深くは考えませんでした。

でも、日本人の友達ができるにつれて、みんなが同じ「I’m fine thank you and you?」しか使わないことにびっくりしました。

なぜ、みんながこんな不自然な挨拶を使ったのでしょうか？

生徒にアメリカ人のような挨拶のしかたを教えたら、とても喜んでいたので、皆さんにも正しい、自然なアメリカ人の挨拶を紹介したいと思います。

では、最初から始めましょう。

“Hi” か “Hey”か、どちらがいいのでしょうか？

友達に声をかける時に、何と言えばいいのでしょうか？

“Hello!”

“Hi!”

“Hey!”

アメリカ人のように、挨拶しよう！

“Hey there!”

“Good afternoon!”

実は「Hello」の代わりに、**色々な表現があります。**

でも考えすぎなくて大丈夫です。英語を勉強する上で一番大事なことは自信をもつことです。言葉自体よりも、自信や笑顔、アイコンタクトの方が気持ちを伝えることができます。

ポイント：笑顔があいさつ代わり。

けれど、「Good Afternoon」や「Hello」のようなフレーズはちょっとフォーマルな感じがして、アメリカの職場でも使う事が少ないかもしれません。

では、私たちアメリカ人は普段、何と言うのでしょうか？

“Hey, how are you?”

実際に、私のくだけた英語では「へハワヤ」みたいに発音します。

アメリカ人に声を掛ける時のポイントは「**Hey, how are you?**」

「Hi」や「Hello」と言うのも当たり前ですが、「Hey, how are you?」の方が会話に乗り気な感じがします。よりフレンドリーになります。

私は、「Hi」か「Hello」だけで返されたら、相手は忙しいのかなと思ってしまいます。

アメリカ人のように、挨拶しよう！

ポイント：会話をもっと広げたいなら、「Hey, how are you?」と言うといいです。もし会話を避けたいなら、「Hi」だけでいいです。

注意してもらいたいことが1つあります。それは、さっきの「How are you?」は実際には「お元気ですか?」という意味ではないということです。

「Hey, how are you?」にはどう返せばいい?

では、「Hey, how are you?」は「お元気ですか」という意味でないなら、どういう意味でしょうか? 前にお伝えしたように、「Hey, how are you?」は「明るく挨拶したい」ということを表現します。

X:

“Hey, how are you?”

“Hey, I’m good thanks. I just went to work today and it was really...”

O:

“Hey, how are you?”

“Hey, I’m good thanks. How are you?”

“I’m good, thanks.”

実際の状況に関わらず、ほとんどのアメリカ人は一言で返す。

Good.

実は、教科書で教わる「I’m fine, thank you」のfineは50%以下の状態を表すのです。一方、「Good」の方は普通より良いことを表します。

「How are you?」の色々な言い方

「How are you?」だけではなく、色々な表現があります。例えば

“How are you?” (一番フォーマル)

アメリカ人のように、挨拶しよう！

“How are you doing?” (フレンドリー)

“How’s it going?” (一番フレンドリー)

前にお伝えしたように、アメリカ人は普段「How are you?」に対して「I’m good」で返しますが、「How are you doing?」や「How’s it going?」に対して、同じフレーズを使うのでしょうか？

“How are you?” “I’m good” (自然)

“How are you doing?” “I’m good” (不自然)

“How’s it going?” “I’m good” (不自然)

以上の返事はなぜ、不自然なのでしょうか？

ポイント：質問に答える時に、ネイティブスピーカーはふつう、質問文の形に合わせて答える。

“How are you?” “I’m good”

“How are you doing?” “I’m doing good”

“How’s it going?” “It’s going good”

ネイティブスピーカーと教科書のずれポイント

「I am good」で返すのが正しくないと思うアメリカ人が多いようです。私は子供の頃に、「I’m good」ではなく、「I am well」で返せば良いと教わりましたが、実は「I am well」で返事する事は珍しくて、よりフォーマルな場面でしか使わないのです。

でも、「I am not good!」の時には？

私たちはいつも楽しかったり、調子が良かったりするわけではなく、悪い時もある

アメリカ人のように、挨拶しよう！

りますよね。そんな時に何と言えば良いのでしょうか？

「Hey, how are you?」

I am...

“Great” 100%

“Good” 70%

“Fine” 50%

“Ok” 40%

“Not so good” 30%

“Bad” 20%

“Horrible” 0%

では、これでアメリカ人のような自然な挨拶をマスターできましたね！どうでしたか？